



国民の森林・国有林



平成26年度
国有林モニター会議

国有林モニター会議を開催

アンケート調査に基づき意見交換会も実施

2014年9月6日、九州森林管理局大会議室において、23人の国有林モニターにご参加をいただき、平成26年度国有林モニター会議を開きました。

森林を元気にしていきたいという内容についてわかりやすくスライドを使用した説明がありました。

その後、吉本昌朗企画調整課長より「九州の国有林について」という題材で、国有林とその取り組みについて詳しい説明がありました。

最後に、モニターのかたがたへ事前に行ったアンケート調査結果を踏まえ、意見交換会を行い、★CLTや木質バイオマスの取り組みを推進することが重要であるとの意見などが多く出されました。

今回の意見交換会は例年の2倍以上の時間をとっていたにも関わらず、時間が足りなくなるほど活発な意見交換が行われました。

参加頂いたモニターからの貴重な意見や感想については、今後の国有林野の管理経営に活かしてまいります。



意見交換会で意見を述べるモニター

★CLT（ヒキ板を繊維方向が直交するように積層接着した重厚なパネルで、直交集成板といわれる新たな木質建築資材です。中高層建築物の木造化に有効とされています。）

(担当) 企画調整課



モニター会議の様子



意見交換会で意見を述べるモニター

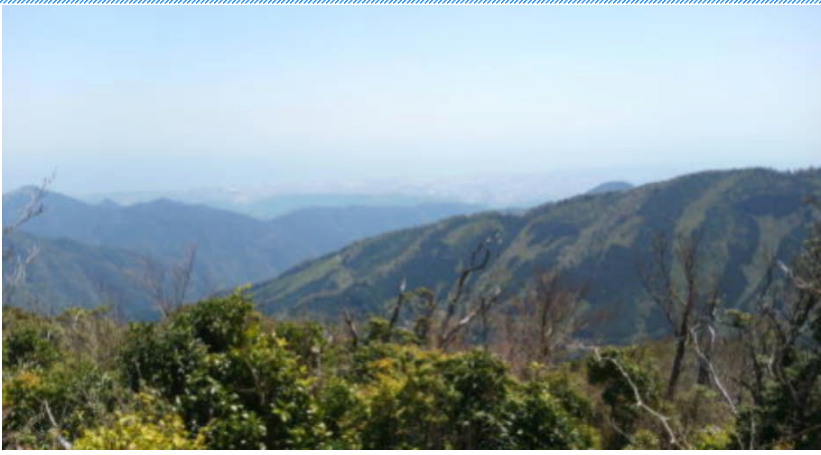
自らの名山



西都児湯森林管理署
都農森林事務所

森林官 野田 誠治

最近、地方のテレビでも紹介された尾鈴山は日本200名山に選ばれている標高1405・2㍎の山で、九州山地の東部、宮崎県中部の都農町と木城町



尾鈴山山頂から見下ろす日向灘



尾鈴山のみ自生する固有種「キバナノツキヌキホトトギス」

尾鈴山周辺地域にしかみられない植物としてウラジロミツバツツジ、ナガバナサンショウウソなどの固有種が分布し、尾鈴山の南方に位置する矢筈岳の山頂付近には、コウヤマキ群落の南限となる自生地もあります。特に珍しいの

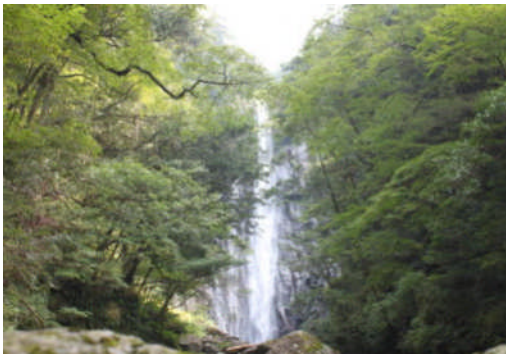
古くから山岳信仰の山「尾鈴山」1405・2㍎

の町境に位置し、古くから山岳信仰の対象となっており、周辺の農民たちは山にかかる雲の様子で天候を予測したほか、日向灘を往来する船乗りたちもこの山を目印として船の位置を確認していたそうです。

尾鈴山から南東へ流下する名貫川の上流域には多くの深い谷が刻まれ、大小30を超える滝が点在しており、「尾鈴山瀑布群」として国の名勝に指定されています。なかでも落差73㍎の矢研の滝は水量も豊富で日本の滝百選に選定された名瀑です。また、瀑布群を含む尾鈴山一帯は尾鈴県立自然公園にも指定されています。

は溪流の崖から垂れ下がるように生えるキバナノツキヌキホトトギスで、この花は世界でも尾鈴山のみ自生する固有種で茎が葉を突き抜いているように見え、葉の付け根に黄色の花を咲かせます。

登山や滝めぐりに合わせた幾つかのトレッキングコースが尾鈴キャンプ場を中心に設定されており、初心者から中級者まで四季折々の尾鈴山の自然を堪能することが出来ますので大自然の魅力あふれる尾鈴山を家族で満喫してはいかがでしょうか？
尾鈴山までの経路は東九州道都農IC↓県道40号線↓県道307号線↓尾鈴キャンプ場です。



「尾鈴山瀑布群」として国の名勝に指定されている落差73㍎の矢研の滝

研修会を長崎県と連携し開催

【長崎森林管理署】長崎県林政課と保安林制度や取り扱いに関する研修会を行いました。最近、他県において無許可による「土砂の違法採取」が発覚し、全国的に報道されたことを受け、

森林法に基づく林地開発許可や保安林の手続きなどを一層適正に行うことを目的に企画。長崎県林政課森林管理班からオブザーバーとして講師を招き、署の担当職員や森林官など総勢約30人が参加。研修会は、基本となる保安林制度や具体の事務処理などの講義がありました。今後、長崎県内で同様の不適正事案が発生しないよう一層連携して未然防止を図っていくことにしています。



研修会へ参加した関係者＝長崎

心の健康づくり講話を開催

メンタルヘルス「4つのケア」について学ぶ

9月29日、局大会議室において、局の「心の健康づくり相談員」である桜が丘病院医師村尾憲優氏を講師に招き、「心の健康づくり講話」を開きました。

この講話は、局の「心の健康づくり実施計画」に基づく本年度2回目の講話で、局内職員約60人が参加しました。



「心の健康づくり相談員」の桜が丘病院村尾先生

の若い人に気分障害の患者が増えていることや、過去1年間に

50人に1人がうつ病を経験していること、その内4分の3の人は病状に悩んでいても病気でいることに気づかなかつたり、病院での診療を受けていないこと、公務員の長期休職者のうち65%は精神疾患が原因であることなど、近年のデータに基づいた話がありました。

また、メンタルヘルスの必要性、メンタルヘルスケアの実施方法として①セルフケア②ライオンによるケア③事業場内産業保健スタッフなどによるケア④事業場外資源によるケアの「4つ



大勢の職員が参加した講話会場

のケア」があることなど、具体的な対策についてわかりやすく

説明があり、最後に、メンタルヘルスのために重要なことは、心とからだが同じ方向を向き（心身一致）仕事をするのが重要であり、職場では相手の本心を知り、本心に沿った行動をはからうことが必要であることを教わりました。

今回の講話を参考に、自身で行うケアや職場でのケアを心がけることが、心身ともに明るく健康的な職場づくりに繋がることを願っています。

（担当：総務課）

森林・林業や国有林に対する意見提言

東シナ海に夕日が沈む時、国有林に立つ風車（背景に甌島がひときわ素敵です）。

ついに12基の風車が完成し、10年の歳月の長きに携わったかたがたへの感謝の重さを感じしみと感じ入るところです。

まずは、北薩森林管理署、九州森林管理局の皆さまへ御礼申し上げます。当初、国有林へ風車？、県の担当者も時



株式会社 柳山 ウインドファーム

代表取締役

永田 善三さん

間と費用の無駄を気づかい、別の場所の設置を勧めましたが、どうしてもこの1基だけはこの国有林でないとダメであり、何回もご説明に上がりました。担当者がついに、地域でこれだ

とになりました。発電出力27600キロワット（2300キロワット×12基）、薩摩川内市の3分の1世帯の電気を賄う九州でも有数の規模です。これだけの規模になりますと、

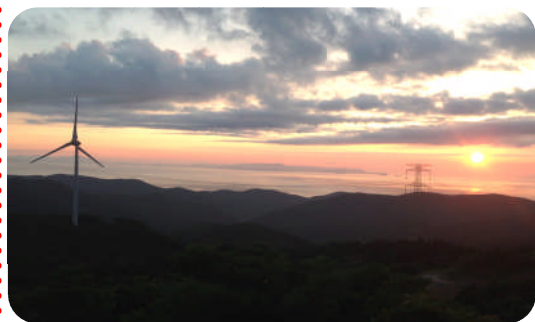
けの動きをされているのであれば、12基の内のものではないだろう、頑張ってみようか、とのお言葉をいただき、それから紆余曲折はありながらも協議が始まり、ついにはこの日を迎えることになりました。

国・県・市の許認可が膨大になり、特に林地開発はこの比ではありません。どれだけの方が携わったことでしょうか？このエネルギーが今後の森林開発や保全に対するある方向性を示すことになれば幸いとし、同時に森と再生可能エネルギーのコラボの始まりに発展すればと祈念するところでした。

100年の大計は森づくりもエネルギー創設も同じです。民間事業者が風車設置の道路を創設し、その道路を使い、森林の間伐、植栽などの整備事業が促進されればそのコラボはますます拍車がかかり、環境教育の場を提供しつつ新たな展開が垣間

見られることでしょう。

森の息吹と風車の風切り音を心地よく感じながら、ちょっと一言を口ずさむことでした。



国有林に立つ風車（奥に見えるのは甌島）



労基署と合同パトロールを実施

【都城支署】当支署管内で都城労働基準監督署と合同による安全パトロールを行い、労基署及び事業体7社の代表者や現場代理人約40人が参加しました。はじめに川畑充郎支署長及び宮川雅行労基署長のあいさつの後、大谷林道改良工事現場及び猪之尾2088治山工事現場を全員でパトロールを行い、最後に事業体各社よりパトロールの結果発表があり、当支署の鎌田敏雄企画官及び労基署の大村孝一専



合同パトロールを行う関係者＝都城

門官から講評がありました。現

在、林野庁全体で重大災害が多発しており、このことを認識し忌憚のない意見を出し合い、当支署管内から絶対に災害は出さない、出させないことを再度誓い合いました。

小学生へ森・木教室を開く

【熊本南部森林管理署】あざぎり町立岡原小学校の依頼で「森林・木工教室」を行いました。当日は、小学4年生と保護者など40人が参加し、当署職員による森林の育て方や、日常生活にどのよう木材が使われ利

用されているのかなどの講話を行いました。その後、地元球磨地域のスギ材を材料に木製のフラワーボックス作りに挑戦しました。参加者らは日頃使うことのないノコギリやカナヅチを手にも全員夢中になって保護者と一緒にフラワーボックスを作成。子供からは組立ては難しかったけどまた、挑戦したいとの感想も聞かれ、この体験を通して、森林や木材との関わりを知ろうと大変有意義となる一日となりました。



完成した作品を手に記念写真を撮る参加者＝熊本南部



2010年に会社を退職してから趣味の魚釣りや菊の三本仕立てを育て余暇を楽しんでいました。

昨年8月に「脊柱管狭窄症」の手術を受けたのですが思った以上に悪化しててチタン製の



伊藤光政さん

ホルト八本で背骨を固定する結果となり車の運転も思うように出来ず魚釣りや菊の花作りもやりづらくなりました。そこで以前にテレビの放送モニターや新聞の紙面モニターをやったことがあるのでモニター関係がないかと探していたところ森林管理局の国有林モニターが目にとまり応募した結果、

日本の林業の未来について

多くなった時代は日本の木材の供給が不足し値段

モニターをやらせてもらえるようになりまし。国有林モニターとはどういったものかははじめ体の悪い自分出来るものかかと思っていました。心配するよくな事はなく自分の意見を言える機会ができれば日本の森林・

な形に変わり生産され建築物に對してもいろいろな材料が使用されるようになりまし。木材も新建材といわれる化学製品などに一部変わり建物に多く使用される木材は海外からの輸入木材が使われるようになりまし。

が高騰して海外からの安い木材に押され国産木材が取り残されるような結果に至ったのだと思いました。国産の木材は檜・杉にしても木目やその美しさが、外材に対して数段に質が上だと思ひます。昔のように大工さん

が造る家は少なくなりましたがハウスメーカーなどで利用する機会が増えればまだまだ日本の材木は利用価値が随分有ると思ひます。

バイオマス利用も悪くないでしょう。しかし建築材料の材木も残して欲しいと思ひます。これからの林業は高品質で使いやすい価格の材木を目指す事も大事だと思ふ。その為には植樹・伐採・搬送・販売の全てに一工夫があるのでないかとも思ひ林業の大事さはモニターを通じて大いに感じまし。先輩の林業経験者がいる今の時代に後継者を育て日本の林業の更なる発展を願ひたいと思ひます。

(大分県在住)

ナイストライ事業を受入 熊本市内中学校2校が参加

熊本市立北部中学校と京陵中学校から「ナイストライ事業」の要請を受け、北部中学校2年生3人が9月9日から11日まで、京陵中学校2年生5人が9月17日から19日までの3日間森林管理局で職場体験を行いました。

この事業は、心身ともに大きく成長する中学生の時期に、地域や自然の中で職場体験などのさまざまな体験活動を通して、勤労観・職業観や感謝する心をはぐくみ、「生きる力」を育成することを目的に、中学2年生を対象に取り組まれています。

1日目は古島勝美総務課長補



現地で講師から説明を受ける北部中の3人

佐が森林管理局の組織や仕事の内容について説明、ミーティングの後「今日の新聞から」に使用するため、新聞から記事の切り抜きを行い、その後、監物台樹木園に移動し、園内周囲の安全点検や落ち葉掻き清掃などの管理作業を体験しました。

2日目は阿蘇の大野国有林において現地実習を行い、登山道の状況を確認する森林パトローパーや、国有林境に設置されている境界標を探しながら確認する境界巡検を体験しました。

3日目は九州森林管理局で体験した3日間の職場体験の内容



巡視の途中案内板の前で京陵中の5人

について取りまとめた各自の広報誌作成を行い、3日間の職場体験を終わりました。

3日間という短い期間での職場体験でしたが、参加した生徒からは「温かく迎えて頂きありがとうございました」といっていました。実際に作業をしてみても仕事に対する責任や大変さを体験し、将来を考える良い機会になりました。などお礼の手紙が寄せられ、今回の職場体験が今後生徒達の「生きる力」の一助になる事を期待します。

(担当 川総務課)

照葉樹の森で自然を満喫



ニッポンの列車、自動車などの安全技術や安全対策は世界最高水準のレベル

だといわれている。一例を挙げれば新幹線。開業以来50年を迎えるが死亡事故は一度も起きていない。さかのぼること70年前の第二次大戦中、日本の軍用機は軍の要請により、攻撃に重点を置かれ、パイロットや燃料タンクを守る防御装置

ニッポンの安全思想と技術

散っていったという。

戦時中の軍用機設計者達は戦後復興と高度成長に大きな役割を果たしている。新幹線の車両も当時の設計者があの忌まわし

対策は、過去の尊い犠牲や教訓の上に築き上げられたものであることを忘れてはならない。

(森林整備課長 工藤 孝)

は皆無と行ってよかった。結果、米軍が放った数発の弾丸で簡単に火を噴くことから、ある軍用機は米軍から「ワンショットライター」というニックネームをつけられ、多くの人命が大空に

森の巨人たち100選「スダジイ」の前で記念写真 大隅
い思いを教訓として設計したそうである。今年の5月、韓国でフェリー沈没事故が発生し多くの若い命が奪われた。日本で造られたフェリーを改造し、さまざまな運行体制と安全を軽視した中で起こるべくして起こった事故である。
乗り物に限らず日本の優れた安全技術や安全

【大隅森林管理署】管内の門田国有林「たかくまふれあいの森」で、NPO法人「大隅照葉樹原生林の会」主催で森林教室が開かれ、鹿屋小学校2〜6年生までの児童30人と、保護者など約50人が参加。講師から樹木の名前や由来などを聞きながらふれあいの森の遊歩道を探索。午後からは、ネイチャーゲームやアコーディオンなどを使った森の音楽祭を楽しみました。当署から3人の職員が講師として参加し紙芝居を担当。子供らから「なぜ森林があるの」「大きい木にはなぜ穴が開いているの」などの質問があり、照葉樹の森



で自然を満喫し森林への理解を深める一日となった様子でした。

本年度第2回目 国有林材供給調整検討委員会を開催

8月25日に本年度第2回目の「国有林材供給調整検討委員会」を開きました。今回も各委員がそれぞれの専門分野からの意見を述べあい、「今後の木材の動向などを勘案すると、当面の供給増を検討することが必要であると考えられる」との結果になりました。



本年度第2回目を開催＝局大会議室

委員からは、「梅雨明け後の台風などの天候不順により、原木市場に木材が集まらない状況である。国有林のみでなく、民営全体として丸太の供給を増やす必要がある。／製材所の意識が変わり、安定した価格で原木

を買うようになってきた。製材所は昨年の経験から、製品の在庫を増やして供給体制を整えてきている。／合板生産は現在、減産体制をとっているが、九州の住宅着工戸数の減少はそれほどではない。木材輸出と木質バイオマス発電所向けの需要が増えており、今後A、B材も需要

がひっ迫してくる可能性がある。／現在、減産体制をとっている紙パルプメーカーは秋口には稼働率を上げる可能性がある。木質バイオマス発電所用の原料材として原木が欲しいという要望も増えている。原木供給のため労働安全対策を含めた、林業労働力対策、路網の整備が必要である。／製品価格は原木価格が安定しないと、安定しない。安定した生産により九州外の消費地へ国産材の供給力を強めることが必要である」などの意見が

出されました。九州森林管理局としては、委員会からの報告を受けて、素材生産を計画的に実施するとともに、当面、立木販売の前倒し実施に取り組みむこととしています。(担当：地域木材情報分析官)

人のうごき

◆退職◆

◇定員外職員◇

9月30日付森林管理局長発令

大園信男(都城支署)

(担当：総務課)



イスノキは暖帯林の代表選手です。気乾比重が0.8から1.0の範囲にあり、水中で沈むものもあります。堅いことから枯損木を利用して床柱、木刀、高級工芸品として利用され、ソロバン玉はほとんどがイスノキで作られています。

イスノキには必ず虫こぶが付いており、虫こぶでつくる笛は誰でも知っていると思います。虫こぶを拾って、空いている穴から中のクヌ類を出して吹くと、大きい虫こぶは低い音が、小さい虫こぶは高い音がします。

84 イスノキ(マンサク科)

笛の材料になる虫こぶの他に、大きくならない小さな虫こぶもあり二つの虫こぶが必ずと言っていいほどありますので観察してみてください。

イスノキは南九州にしか存在しないと考えがちですが、対馬の竜良山には見事な大木が林立していますし、宮崎県綾町でも大木の観察ができます。

花は葉腋に付くと解説してありますが、見た目には枝から直接咲いているように見え、花弁はなく真っ赤な葯と柱頭が目を引き、1回でも観察すると忘れられません。



9月27日の御嶽山の噴火は、頂上付近にいた多くの登山者が犠牲となられ、活火山の怖さを見せつけられた。一日も早く安否不明のかたがた全員が家族の元へ帰られることを祈っている

▼九州には、今も噴火を継続している桜島、阿蘇山、2011年に噴火した新燃岳など多くの活火山がある。犠牲者が出たのは、1991年の普賢岳の噴火以来だぞうだ。活火山は一方で観光地の一面もあり、今回の御嶽山は紅葉を楽しむ、楽しい登山が一転して噴火により惨事となった▼なお、九州の活火山の多くは国有林に隣接したところであり、今回の噴火も人ごとではない。国有林には多くの人が登山などを目的として日々入山しているし、その麓では、多くの人々が生活している▼噴火ばかりではなく、台風や豪雨などで常に大きな災害が発生している。山が職場である私たちは、地元、市町村や住民と連携を取りながらこれらと向き合う必要がある▼そのためには、的確な情報提供や対策ができるよう、職員一人一人が可能な限り、日頃から山の把握に努めたい。(ひ)